

---

記事

[Mihoko Iijima](#) · 2023年2月14日 4m read

## irissqlcli (IRIS SQLの高度なターミナル) : InterSystemsデベロッパーツールコンテスト2023入賞作品のご紹介

開発者の皆さん、こんにちは！

InterSystems デベロッパーツールコンテスト2023が開催され、**21**の応募作品の中から**勝者が発表**されました

この記事では、世界のIRIS開発者の皆さんから注目を集めた作品をご紹介します。

最初は、**Experts Nomination 第1位に輝いた @Dmitry Maslennikov** さんの作品をご紹介します！

[@Dmitry Maslennikov](#) さんが解説されている [記事 \( Welcome irissqlcli - advanced terminal for IRIS SQL \)](#) もあります。ぜひこちらもご覧ください。

[@Dmitry Maslennikov](#) さんは、IRIS SQL用の高度なターミナル [irissqlcli](#) を開発されました。

### [irissqlcli](#)

を使用すると、SQL記述時にSQL構文、関数、型、IRIS内テーブル名、カラム名に対する候補が表示されるため、SQL文がとても書きやすくなります。

ヘルプも充実しています。( `h` でヘルプが表示されます )

```
[SQL]_SYSTEM@host.docker.internal:USER> \?
+-----+
| Command | Shortcut | Description |
+-----+
| .exit    | \q       | Exit. |
| .mode    | \T       | Change the table format used to output results. |
| .once    | \o [-o] filename | Append next result to an output file (overwrite using -o). |
| .schemas | \ds [schema] | List schemas. |
| .tables  | \dt [schema] | List tables. |
| \e       | \e       | Edit command with editor (uses $EDITOR). |
| help     | \?       | Show this help. |
| nopager  | \n       | Disable pager, print to stdout. |
| notee    | notee    | Stop writing results to an output file. |
| pager    | \P [command] | Set PAGER. Print the query results via PAGER. |
| prompt   | \R       | Change prompt format. |
| quit     | \q       | Quit. |
| tcommit  | \tc      | Commit a Database Transaction. |
| tee      | tee [-o] filename | Append all results to an output file (overwrite using -o). |
| trollback | \tr      | Rollback a Database Transaction. |
| tstart   | \ts      | Start a Database Transaction. |
+-----+
Time: 0.005s
[SQL]_SYSTEM@host.docker.internal:USER> .tables
+-----+
| TABLE_NAME |
+-----+
| MyHealth.Steps |
+-----+
Time: 0.028s
[SQL]_SYSTEM@host.docker.internal:USER> 
```

接続先のテーブル一覧を取得する場合は「.tables」で取得できました。

また、以下のように記入時に入力候補が表示されます。Pygments を利用されているようで、シンタックスがハイライトされてきれいです。

```
[SQL]SuperUser@localhost:USER> select * From "MyHealth"."Steps"
```

```
[SQL]_SYSTEM@host.docker.internal:USER> select TO_DATE('YYYY-MM-DD', 'YYYY-MM-DD')
TO_CHAR
TO_DATE
TO_NUMBER
[F3] Multiline: OFF
```

[irissqlcli](#) の利用方法は3種類ありますが、この記事では、2種類をご紹介します。

## その1 : pipでirissqlcliをインストールして使う方法

Pythonがインストールされている環境で、以下実行します。

```
pip install -U irissqlcli
```

後は、irissqlcliコマンドを利用して、お手元のIRISに接続するだけです。

接続情報の指定は以下の通りです。

**irissqlcli iris://IRISのユーザ名:パスワード@ホスト名:スーパーサーバポート/ネームスペース名**

IRISのユーザ名がSuperUserで、パスワードがSYS、localhostの1972のスーパーサーバポートのIRISのUSERネームスペースに接続する方法は以下の通りです。

```
irissqlcli iris://SuperUser:SYS@localhost:1972
```

実際の画面は以下の通りです。(exitを入力すると元のプロンプトに戻りました)

```
● (dev01) PS C:\WorkSpace\Contest> irissqlcli iris://SuperUser:SYS@localhost:1972
Server: InterSystems IRIS Version 2023.1.0.185 xDBC Protocol Version 65
Version: 0.4.0
[SQL]SuperUser@localhost:USER> exit
Goodbye!
○ (dev01) PS C:\WorkSpace\Contest> █
```

## その2 : irissqlcli-web用コンテナを利用する方法

Webターミナルで実行できるコンテナが提供されているので、dockerをインストールした環境で以下実行します。

```
docker run -d --name irissqlcli --restart always -p 7681:7681 caretdev/irissqlcli-web irissqlcli iris://_SYSTEM:SYS@host.docker.internal:1972/USER
```

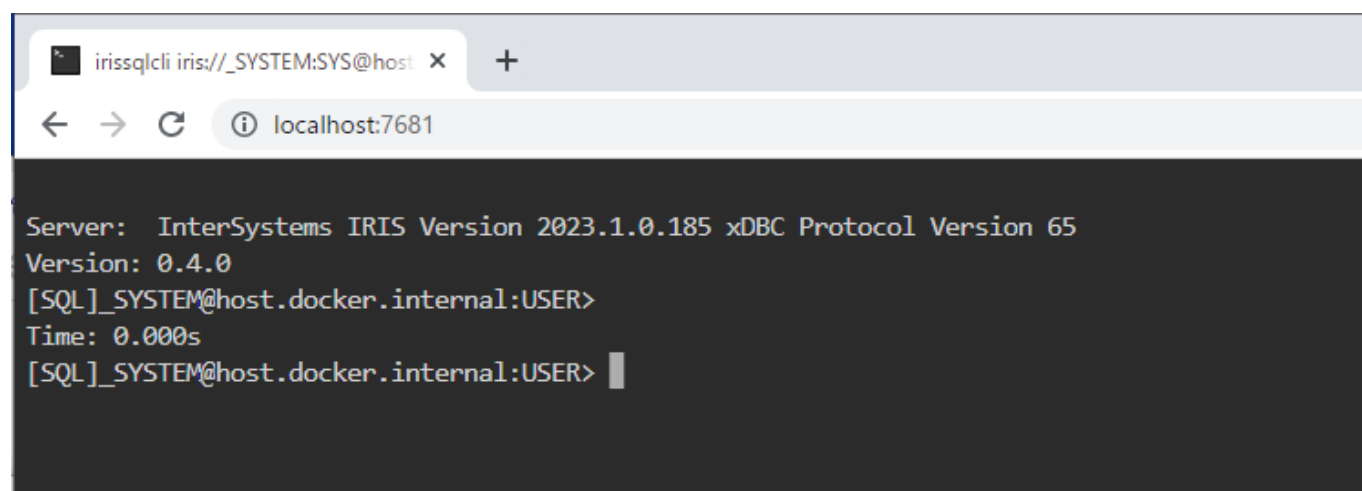
上記実行で、caretdev/irissqlcli-web:latestのイメージがPullされます。(イメージのサイズは157MBでした。とても小さいです!)

イメージのPullが完了するとコンテナが開始され、コンテナのホストにインストールされているIRISのスーパーサーバポート1972番、USERネームスペースにアクセスします。

コンテナが正常に開始されたかについては、docker ps で確認できます。

```
>docker ps
CONTAINER ID   IMAGE                                COMMAND                  CREATED
STATUS        PORTS                               NAMES
40f556b8fdd8   caretdev/irissqlcli-web            "/usr/bin/tini -- tt..." 3 seconds ago   Up 1 second    0.0.0.0:7681->7681/tcp    irissqlcli
```

[localhost:7681](http://localhost:7681) にアクセスすると、以下のように irissqlcliのWebターミナル版が開きます。



コンテナを停止する場合は、以下の実行で停止できます。

```
docker stop irissqlcli
```

コンテナを削除したい場合は、以下の実行で削除できます。

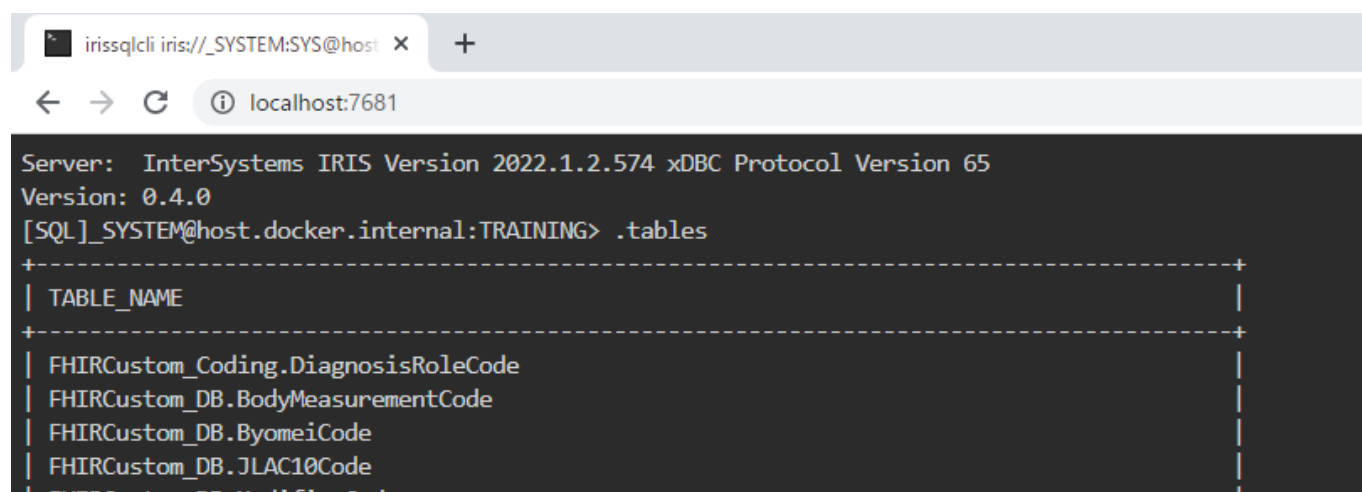
```
docker rm irissqlcli
```

接続するIRISのスーパーサーバーポートやネームスペースを変更したい場合は、docker runで指定している末尾の引数 (irissqlcli以降) の接続情報を変更するだけで切り替えができます。

以下の実行例では、スーパーサーバーポート : 51778、ネームスペース : TRAININGに接続しています。

```
>docker run -d --name irissqlcli --restart always -p 7681:7681 caretdev/irissqlcli-  
web irissqlcli iris://_SYSTEM:SYS@host.docker.internal:51778/training  
fd5523695e10f75b0b1157cf001741fb5ddfae5f74b4f58a5a960f96f88f6006
```

プロンプトの右端に指定したネームスペースが表示されます。



どちらの方法も使用中IRISに追加のインストールが不要ですので、お手軽にご利用いただけると思います



ぜひ皆さんのIRISでも試してみてください。また、返信欄に使った感想など、ぜひお寄せください！

[#SQL](#) [#ツール](#) [#InterSystems IRIS](#) [#InterSystems IRIS for Health](#) [#IRIS contest](#)

---

ソースURL:<https://jp.community.intersystems.com/post/irissqlcli%E3%81%AE%E9%AB%98%E5%BA%A6%E3%81%AA%E3%82%BF%E3%83%BC%E3%83%9F%E3%83%8A%E3%83%AB%E3%83%9A%E3%83%87%E3%83%99%E3%83%AD%E3%83%83%E3%83%91%E3%83%BC%E3%83%84%E3%83%BC%E3%83%AB%E3%82%B3%E3%83%B3%E3%83%86%E3%82%B9%E3%83%882023%E5%85%A5%E8%B3%9E%E4%BD%9C%E5%93%81%E3%81%AE%E3%81%94%E7%B4%B9%E4%BB%8B>